

# 企業と障害者の取り引き事例を紹介する **長崎県CSR通信** ~ 第31号 ~

CSRとは「企業の社会的責任」のことで、消費者が企業を選ぶ基準の1つです。

## スポーツ大会の運営スタッフ用弁当を、障害者の施設に注文

5～6月は県高総体などのスポーツイベント真っ盛りですが、5月31日には、第9回長崎県障害者スポーツ大会が開催され、障害のある約1300人の方が日頃の練習の成果を競い合いました。

この大会の運営スタッフの昼食には、障害福祉サービス事業を実施している**就労継続支援事業所 厨**(長崎市竹の久保町)で作られたお弁当が用意されました。

今回は、この大会の主催者で、お弁当の注文をされた**長崎県障害者スポーツ協会**の**土居二郎**次長と、**厨**の**川瀬智恵美**施設長にお話しをうかがいました。

- 弁当作りで、障害のある方はどんな作業を担当しているんですか？

**川瀬さん**「職員が用意した食材を、弁当に詰める作業をしています。」

- お得意様を教えてください。

**川瀬さん**「近所の新聞社や放送局、JR、薬局、自動車販売店、官公庁などにご利用いただいています。」

- 弁当のセールスポイントは何ですか？

**川瀬さん**「値段の安さ(370円)と、栄養士がカロリーをバッチリ管理しているところです！特に、女性の方が健康に気がつかっていらっしゃる方に人気ですよ。」

- これからの展望を。

**川瀬さん**「当事業所ではお弁当以外にも、**長崎喫茶おやじの会**からドリップコーヒー(東京からも注文が来る幻のコーヒーだそうです)封入作業や、企業からの下請け作業も行っています。利益追求以上に、障害者のことを優先して事業を行っていきたいと思います。」



弁当担当  
スタッフの皆さん



大会時の特注弁当(500円)  
彩りもきれいで、美味でした

**土居さん**「厨さんの弁当は、家庭的な味で量もちょうどいいので、私も含め協会の職員は普段からよくいただいています。」



障害者の施設で、これだけおいしい弁当ができるんだ！ということを知っていただく機会になればと思い、大会本部のスタッフ用に、特注の弁当(500円)を120個注文しました。

もっとアピールすれば、もっとたくさんのファンができるはずですよ。」

## 障害者施設への発注をご検討の方へ **お役立ち情報!**

その1 障害者施設との取引額に応じ**法人税等の優遇措置**があります。  
詳しくはこちら <http://www.pref.nagasaki.jp/kurashi/pdf/zeiseikaisei.pdf>

その2 読むだけでも役に立つ「長崎県CSR通信」バックナンバーは、  
こちら <http://www.pref.nagasaki.jp/syogai/koutin/CSR.html>

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、そのままご返信くださるようお願いいたします。



企業と障害者の取引事例紹介紙「**長崎県CSR通信**」 発行部数:2465部 電話**095-895-2454**  
発行 長崎県障害福祉課(担当:村井。お電話大歓迎!) 平成21年6月12日(毎月第2・第4金曜発行)

障害者の施設と取り引きをしている個人商店の方で、ユニークな営業で業績を伸ばしていらっしゃる方とお会いしました。私が「その営業手法は、どこで学ばれたんですか?」と聞くと「カリスマメーカーの神田昌典さんの本などを全国の仲間と一緒に勉強している」とのこと。感動です!私も負けずに勉強します!

## 南島原市役所が、公園の草刈りを障害者の施設に発注

「梅雨に入って、雑草が茂って困る・・・」庭や空き地に茂る雑草に悩まされて、「梅雨が明けたら草刈りをする！」という方も多いのではないのでしょうか。

南島原市役所では、管理している公園の除草作業を、知的障害者通所授産施設のワークネットやはた(南島原市加津佐町)に委託しています。

今回は、南島原市建設部都市計画課の川田万希男主事と、ワークネットやはた溝田民弘施設長にお話しをうかがいました。

- 市役所から受託している業務内容は？

**溝田さん**「市営住宅や学校、公園の除草で、池や排水路の清掃、樹木の消毒・剪定など付随する業務も行っています。」

- 除草作業をされる障害者の皆さんの様子は？

**溝田さん**「施設の理念の1つが『自然を大切にする』こと、開所時から花苗の栽培などを行っています。除草作業を得意としている方など、1人1人の特性を活かすことを心がけているので、やる気満々で作業に取り組んでいますよ。自然に触れると情緒も安定するので、とてもいいですね。」

「なお、市の業務を受託してから、障害者に支払う工賃(賃金)を20%増やすことができました。」

- 今後の展望を。

**溝田さん**「当施設では清掃作業以外にも、企業から縫製品の仕上げや箱折り作業なども受注していて、地域の方にも知られるようになってきました。」

現在、ある企業と取り組んでいる新商品の開発を成功させることが当面の目標です。」



溝田さん(後列中央)と作業スタッフの皆さん



除草作業は、役割を決めて丁寧に行っていました。

**川田さん**「以前は公園の除草作業は企業に発注していましたが、「福祉の向上」「現地をよく知っている」ことに加えて、「**値段が安い**」こともあり、施設に発注し始めました。」



近隣の住民の方からはなかなかの評価ですし、限られた予算のなかでよくやってくださっているのので助かっています。」

## 障害者施設への発注をご検討の方へお役立ち情報！

その1 障害者施設との取引額に応じ**法人税等の優遇措置**があります。詳しくはこちら <http://www.pref.nagasaki.jp/kurashi/pdf/zeiseikaisei.pdf>

その2 読むだけでも役に立つ「長崎県CSR通信」バックナンバーは、こちら <http://www.pref.nagasaki.jp/syogai/koutin/CSR.html>

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、そのままご返信くださるようお願いいたします。



企業と障害者の取引事例紹介紙「長崎県CSR通信」 発行部数:2454部 電話**095-895-2454**  
発行 長崎県障害福祉課(担当:村井。お電話大歓迎!) 平成21年6月26日(毎月第2・第4金曜発行)

盲目のピアニスト辻井伸行さんが国際ピアノコンクール優勝という快挙を成し遂げられました。「辻井さんに障害があったからこそ、ずば抜けた音感が養われたのではないか？」と考えるならば、障害は特性の1つだと言えるのでしょう。辻井さんご家族の方には心から敬意を表したい気持ちで一杯です。

### 障害者の施設が、企業から箱の組み立て作業を受託

「長崎県CSR通信」11号や18号などでご紹介したように、障害者の施設に業務委託をしている企業は、本当に多いです。

**イワサキ・紙器**(東彼杵郡波佐見町 <http://total-package.jp/>)では、箱の組み立て作業を**波佐見授産場**(同町 <http://1717sakura.com/hasamiall1.htm>)に委託しています。

今回は、イワサキ・紙器の**岩寄佳代子**総務部長と、波佐見授産場の**植田慎一郎**管理者にインタビューしました。

- イワサキ紙器との取り引き内容は？

**植田さん**「箱の材料を預かり施設内で組み立てる作業と、当施設の障害者と支援員のチームがイワサキ紙器工場内のラインの一部を請け負って箱を組み立てる作業です。」

- 企業内でラインの一部を請け負うメリットは？

**植田さん**「他の従業員の方と同じスピードでの作業が求められるので意識が高まることと、施設内での作業で身につけたスキルが、企業でそのまま活かせる点ですね。」

- 企業との取り引きで大変なことは？

**植田さん**「企業の信頼を得るために、品質を確保することです。当初、請け負った箱の組み立ては、形が複雑で不良も多く出しましたが、**作業をする障害のある方々がとにかく頑張って技術が上達したため**継続して取り引きできるようになりました。」

「施設の皆さんが真剣に黙々と作業をする様子を見て見学に来られる多くの方が驚かれます。地域の皆様のお役に立てる施設にしたいです。」



イワサキ紙器工場でのライン作業。正確さもスピードも素晴らしい！



植田さん(最後列右から2人目)と施設・スタッフの皆さん

**岩寄さん**「他人を思いやる気持ちがとても強かった先代社長からずっと障害者を雇用しており、施設の方とも自然体で接しますよ。」



業務は、社内だけではまかないきれないので、今では障害者の施設との取り引き無しにはやっていけません。

信用して発注できる施設は、材料の引き渡し、組み立て、発送までお任せで、検品も不要。本当に助かっています。」

### 障害者施設への発注をご検討の方へ お役立ち情報！

その1 障害者施設との取引額に応じ**法人税等の優遇措置**があります。詳しくはこちら <http://www.pref.nagasaki.jp/kurashi/pdf/zeiseikaisei.pdf>

その2 読むだけでも役に立つ「長崎県CSR通信」バックナンバーは、こちら <http://www.pref.nagasaki.jp/syogai/koutin/CSR.html>

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、そのままご返信くださるようお願いいたします。



企業と障害者の取引事例紹介紙「長崎県CSR通信」 発行部数:2454部 電話**095-895-2454**  
発行 長崎県障害福祉課(担当:村井) 平成21年7月10日(毎月第2・第4金曜発行)

波佐見授産場さまがイワサキ紙器さまから受託する箱は、大手衛生陶器メーカーの箱を始め高級で複雑なものが多いんです。右の写真は、高級陶器用の箱。上の箱は、欠陥品らしいのですが、私には欠陥の箇所がわからず・・・施設の皆さんの高い意識は、特筆ものでした。



## 新聞社が、チラシのポスティングを障害者の施設に委託

「ポスティング」とはチラシを各戸のポストに配布する営業方法で、チラシを見てもらえる確率が高いと言われています。

西日本新聞エリアセンター時津(時津町浦郷)では、購読申込みチラシのポスティングを障害福祉サービス事業所アゲ八蝶(時津町左底郷)を始め4施設に委託しています。

今回は、西日本新聞社長崎営業部の金子孝二様、西日本新聞エリアセンター時津の谷口禎二所長、アゲ八蝶の田浦稔管理者にお話しをうかがいました。

- 障害者の施設に委託したきっかけは？

谷口さん「購読のお願いにご家庭を訪問しても共働き世帯が増えてなかなか会えないため、ポスティングに力を入れたいと考えていましたが、従業員が新聞配達の間際にポスティングしている状態でした。」

「そんな時、10年近く前から新聞にチラシを折り込む作業を委託していたアゲ八蝶の田浦さんから『ポスティングもできますよ』とお話しをいただき、『無理をしない範囲で』とお願いしたのが、きっかけです。」

- ポスティング担当の障害者の方は、収入も増えたようです。

金子さん「販売店の集まりの『エリアセンター連合会』は“車いす送迎車を贈ろう！”キャンペーンを長年実施するなど社会貢献にも力を入れています。少しでもお役に立てて嬉しいです。」

- 今後、施設への発注が広がるといいですね。

金子さん「ポスティングは、現場のエリアセンターと施設の協力で始まったモデルケース。他エリアにも展開できれば理想的ですね。」



金子さん(右)と谷口さん

アゲ八蝶紹介文書(右)と販売申込みチラシ。

田浦さん「チラシのポスティングは、長崎県精神障害者地域活動支援連絡協議会(「長活協」)のもと、時津町及び長崎市の4施設(スマイル作業所、エリア21、パラダイスハウス、アゲ八蝶)が分担して行っています。



当施設では、希望した2名の障害者が担当していて、配布エリアを調べるのも配布するのも全て自分たちでしています。西日本新聞社の方の提案で、購読申込みチラシには施設の紹介文書も添付させていただき、地域の方々に施設のPRを配慮していただいています。

## 障害者施設への発注をご検討の方へ お役立ち情報！

その1 障害者施設との取引額に応じ法人税等の優遇措置があります。詳しくはこちら <http://www.pref.nagasaki.jp/kurashi/pdf/zeiseikaisei.pdf>

その2 読むだけでも役に立つ「長崎県CSR通信」バックナンバーは、こちら <http://www.pref.nagasaki.jp/syogai/koutin/CSR.html>

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、そのままご返信くださるようお願いいたします。



企業と障害者の取引事例紹介紙「長崎県CSR通信」 発行部数:2452部 電話095-895-2454  
発行 長崎県障害福祉課(担当:村井) 平成21年7月24日(毎月第2・第4金曜発行)FAX095-823-5082

この取材の後、西日本新聞の金子さんから、「この通信を新聞と一緒に配ってもよいですか？」とのご相談を受けました。実は、「CSR通信」をもっとPRしたいと考えていたところだったんです！障害者とは接点がないと思っていらっしゃる貴方にも、障害者とつながりがあることを知っていただくと嬉しいです。

## 知的障害者の施設から長崎県庁がプランターを購入

障害者の施設が作る商品を積極的に購入しようとする動きは、この通信の32号でご紹介した南島原市を始め、官公庁でも広がりを見せています。

**長崎県長崎振興局建設部**(長崎市大橋町)では、以前から景観用のプランターを知的障害者通所授産施設**小浦の里**(長崎市小江町)に発注していましたが、今年からは道路の側の除草作業も新たに委託し始めたそうです。

今回は、小浦の里の**福田英夫**施設長と、長崎県長崎振興局建設部道路維持課の**井村誠司**さん、**小泉修一**さんにお話しをうかがいました。

- 小浦の里に発注したのはなぜですか？

**小泉さん**「以前から小浦の里のプランターを活用しており、今回も取り替え時期が来たので発注しました。」

**井村さん**「除草は、小浦の里から施設周辺の道路の除草について発注依頼があったのを受けて障害者福祉の向上と地域の活動に役立てて頂ければと思い、今回お願いしました。」

- プランターや除草作業の評価は？

**小泉さん**「プランターは、長崎駅前を始め各所に設置していますが、景観面でもよく、地域の方々や観光客にも元気をもたらしていますよ。」

**井村さん**「除草作業は丁寧にいただいたおかげで狭い道路も見通しが良くなり、より安全になりました。近隣の住民の方からも喜んでいただいています。」

- 今後の活用の予定は？

**井村さん**「障害のある方に喜ばれ、仕事向上や地域活動等に少しでも協力できれば、今後も活用していきたいと思います。」



井村さん(奥)と小泉さん



長崎駅前にあるプランターには木の温もりが感じられます。

**福田さん**「当施設の木工作業班はプランター以外にもベンチやペン立てなどの商品を作っています。木製ペン立ては、長崎県緑化推進協会さまの「緑の募金」の協賛商品としても利用していただき、**事前見込みの2倍以上の申し込み**があったと聞いています。」

今は、エアコンの室外機の基礎や、フェンスブロックなどのコンクリート製品の製造と販売にも力を入れており、障害者の収入を増やせるようにしたいですね。」



福田さん(右)と木工班の皆さん

## 障害者施設への発注をご検討の方へお役立ち情報！

その1 障害者施設との取引額に応じ**法人税等の優遇措置**があります。詳しくはこちら <http://www.pref.nagasaki.jp/kurashi/pdf/zeiseikaisei.pdf>

その2 読むだけでも役に立つ「長崎県CSR通信」バックナンバーは、こちら <http://www.pref.nagasaki.jp/syogai/koutin/CSR.html>

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、そのままご返信くださるようお願いいたします。



企業と障害者の取引事例紹介紙「長崎県CSR通信」 発行部数:2432部 電話**095-895-2454**  
発行 長崎県障害福祉課(担当:村井) 平成21年8月14日(毎月第2・第4金曜発行)FAX095-823-5082

福田施設長のお嬢様は、さだまさしさんの「がんばらんば」を使った県民体操「がんばらんば体操」(<http://www.pref.nagasaki.jp/kensport/ganba/>)の専任インストラクターとして県内各地で体操の講習をされていていらっしゃいます。楽しい体操ですので、イベントなどで取り入れてみてはいかがでしょうか。

# 障害者施設に発注する不安が納得に！長崎県CSR通信～第36号～

CSRとは「企業の社会的責任」のことで、消費者が企業を選ぶ基準の1つです。

回覧用

## 障害者の施設に、長崎県庁がキャンペーングッズの作製を発注

販売促進などのキャンペーンを行う場合、グッズを作ることも多いようですが、既存の商品に手を加えてオリジナルグッズに仕立てると、目をひくようです。

**長崎県庁**(長崎市江戸町) **障害福祉課**では、自殺防止のキャンペーングッズの作製を障害福祉サービス事業所**ワークショップあさひ**(長崎市西山)に発注しました。

どんなグッズが出来たのか？ワークショップあさひの**高倉務**課長と、長崎県障害福祉課の**山口美紀**係長にお話をうかがいました。

- 今回の作業内容は？

**高倉さん**「ウェットティッシュと自殺予防の相談窓口などが掲載されたパンフレットをビニール袋に入れ封をした後、表面に『自殺予防週間』のシールを貼る作業です。」

- 他にもこのような作業はしているんですか？

**高倉さん**「お中元や節句の時期を中心に、贈答用タオルや加工食品の箱詰め作業などを行っていますので、慣れたものです。」

- 作業は難しいですか？

**高倉さん**「お客様からは、商品を箱詰めする順番やシールの向きなど細かい注文もありますが、作業をする障害者に完成写真を見せたり、職員でチェックを行うことで、正確に仕上げられますよ。」

- 障害者にとって、作業のメリットは？

**高倉さん**「収入が増えることが1番ですが、作業をすることで集中力が向上する点ですね。作業中は、みんなが生き活きますから。」



高倉さん(右から4人目)と作業をしてくださった皆さん



これが完成品。予定よりかなり早く出来上がりました。

**山口さん**「1年間で全国では3万人以上長崎県でも約400人が自ら命を絶つという状況に歯止めをかけるため、長崎県では自殺対策に全力を挙げて取り組んでいます。」



施設に発注したのは、心の悩みを抱えている方向けの相談窓口などを多くの方に知ってもらうためのグッズですが、予算も納期も満足ではない中、きれいに作っていただいて、本当に感謝しています。」

## 障害者施設へ発注すると優遇措置も！

その1 障害者施設との取引額に応じ**法人税等の優遇措置**があります。詳しくはこちら <http://www.pref.nagasaki.jp/kurashi/pdf/zeiseikaisei.pdf>

その2 読む社会貢献情報紙「長崎県CSR通信」バックナンバーは、こちら <http://www.pref.nagasaki.jp/syogai/koutin/CSR.html>

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、そのままご返信くださるようお願いいたします。



企業と障害者の取引事例紹介紙「長崎県CSR通信」 発行部数:2432部 電話**095-895-2454**

発行 長崎県障害福祉課(担当:村井) 平成21年8月28日(毎月第2・第4金曜発行)FAX095-823-5082

長崎県では、自殺の現状や対策を多くの方に知っていただくために「自殺対策シンポジウムin佐世保」を8月29日(土)13時～佐世保市コミュニティセンター(光月町)で開催します。入場は無料で、相談会も開催されます。あなたが参加することで、誰かの命を救うことになるかもしれません。

回覧用

## 青雲中学・高等学校の「青雲祭」に、障害者の施設が出店

秋は文化祭の季節。文化祭の準備で忙しい学校も多いのではないのでしょうか。青雲中学・高等学校(西彼杵郡時津町)で8月30日に開催された青雲祭には、障害福祉施設いちごの家とスマイル作業所(ともに、西彼杵郡時津町)が出店し、障害者の車イスを押す生徒さんをあちこちで見かけました(写真右)。



どのような交流をして、生徒さんにどんな変化が表れたのでしょうか。今回は、青雲祭福祉企画チームのリーダーで青雲高校2年の**中島寛貴**さんと**宮崎梨乃**さん、青雲祭に出店したいちごの家の**吉原田鶴**さんにお話をうかがいました。

- 障害のある方と接することはよくあるんですか？

**中島さん**「通学時に接するくらいで、深く交流するのは今回が初めてでした。」

青雲祭の前に施設に行って、商品作りを手伝ったり、車イスの使い方を学びましたが、最初は生徒みんな緊張していて、どう話しかけたらいいかわからなかったんです。

でも、慣れてくると表情から気持ちが理解できるようになり、青雲祭当日は打ち解けられました。」



いちごの家の商品は宮崎さん(左)と中島さん 10万円以上も売れました！

- 施設の商品を見た感想は？

**宮崎さん**「よくこんな商品が作れるなとビックリしました。かわいくて、たくさんの生徒に買ってもらいたかった。福祉企画チームで商品を紹介するチラシを作り、青雲祭の前に全クラスに配ったんです。」

**吉原さん**「青雲祭では、当施設に通う障害者が龍踊りなどの出し物を見られるように、100人以上もの生徒さんが1時間半交替で車イスを押して各会場を案内してくださいました。」

車イスを押す間、生徒さんが積極的に話しかけてくれたので、みんないい表情をしてましたよ。」

- 今回の青雲祭で変化したことはありますか？

**中島さん**「通学バスで障害のある方と一緒にになった時は戸惑いもありましたが、今ではそんなことも全く無くなって、これからはもっと仲良くできそうです。」



吉原さん(中央)と施設の皆さん

### 障害者施設へ発注すると優遇措置あります。

その1 障害者施設との取引額に応じ**法人税等の優遇措置**があります。詳しくはこちら <http://www.pref.nagasaki.jp/kurashi/pdf/zeiseikaisei.pdf>

その2 読む社会貢献情報紙「長崎県CSR通信」バックナンバーは、こちら <http://www.pref.nagasaki.jp/syogai/koutin/CSR.html>

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、そのままご返信くださるようお願いいたします。



企業と障害者の取引事例紹介紙「長崎県CSR通信」 発行部数:2424部 電話**095-895-2454**  
発行 長崎県障害福祉課(担当:村井) 平成21年9月11日(毎月第2・第4金曜発行)FAX095-823-5082

青雲高校の生徒さんと障害者が交流するのを見て、NBCラジオのパーソナリティのごうまなみさんが「障害者と接して会話することは、人材育成にも有効」だとお話されていたことを思い出しました(詳しくは「長崎県CSR通信」10号をご覧ください)。多感な時期の生徒にとって、きっといい経験になるはずですよ。

回覧用

## 全国育樹祭の木工名札は、障害者の施設で作製

森林の手入れを通じて緑を育て、次の世代に引き継ぐことの大切さを伝えることを目的に**第33回全国育樹祭**が、皇太子殿下をお招きして、県立百花台公園(雲仙市国見町)で10月4日(日)に開催されます。(http://www.pref.nagasaki.jp/ikujusai/index.html)

育樹祭当日、参加者が身につける木製の名札は、県内4つの障害者施設(遊歩、ワーキングヒルズ、ありえ未来ワークセンター、普賢学園南有馬)で障害のある方が作りました。

今回は、名札を発注した長崎県農林部全国育樹際準備室の**岩崎幸男**係長と、名札を作成した知的障害者通所授産施設**普賢学園南有馬**(南島原市南有馬町)の**金子真也**さんにお話をうかがいました。



金子さん(中央)と施設利用者の皆さん

- 施設に発注した経緯を教えてください。

**岩崎さん**「『全国育樹祭』に参加する方につけていただく名札は、長崎県産のヒノキの間伐材で作ることにしました。

そこで、ヒノキの加工ができる場所を探していたところ、子供用のおもちゃなど木工の商品を作っている障害者の施設があることを思い出して、相談したところ、快く受けていただきました。」

- 発注するときに不安はありませんでしたか？

**岩崎さん**「作る名札の数が約6000個と多かったので少し心配しましたが、予定より早く完成したのでホッとしました。」

- 最後にメッセージを。

**岩崎さん**「この育樹祭は、全国から7500名にご参加いただくので、長崎らしい、素晴らしい育樹祭にしたいと思います！」

左のシンボルマークは、高校生による作品です。

**金子さん**「当施設では、県から提供されたヒノキを、1センチ厚に輪切りにして2ヶ月間乾燥させて研磨した後、穴を開けてヒモを通す作業をしました。特に、紙やすりで磨く作業は熱心に行えたので、仕上がりもキレイでした。」

育樹祭のニュースやCMが放送される時に『みんなで作った名札は、この育樹祭で使われるんだよ。』と言うと、得意気な顔をするんですよ。」



木製の名札は記念になりそう。

### 障害者施設へ発注すると**優遇措置**あります。

その1 障害者施設との取引額に応じ**法人税等の優遇措置**があります。詳しくはこちら <http://www.pref.nagasaki.jp/kurashi/pdf/zeiseikaisei.pdf>

その2 読む社会貢献情報紙「長崎県CSR通信」バックナンバーは、こちら <http://www.pref.nagasaki.jp/syogai/koutin/CSR.html>

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、そのままご返信くださるようお願いいたします。



企業と障害者の取引事例紹介紙「長崎県CSR通信」 発行部数2417部 電話**095-895-2454**  
発行 長崎県障害福祉課(担当:村井) 平成21年9月25日(毎月第2・第4金曜発行)FAX095-823-5082

知人から勧められた本「一瞬で自分を変える法」(アンソニー・ロビンズ氏著)をようやく読みました。この本で一番強烈だったのは「人生の質 = コミュニケーションの質」という個所。他人とだけでなく、自分自身とコミュニケーションができると、日常生活の意味が変わってくるんですね。



回覧用

## 広報誌の送付作業を、障害者の施設が受託

業務などで大量の文書を発送する時は、人手や時間の確保に悩まされますよね。。。

**長崎県社会福祉協議会**(長崎市茂里町)では、広報誌「長崎ふくし tomorrow」の発送作業を知的障害者授産施設**ながさきワークビレッジ**(長崎市西山)に委託しています。

発送作業を委託して、どんなメリットがあったのでしょうか？

今回は、長崎県社会福祉協議会の**松本隆**主査、ながさきワークビレッジの**大森裕美**支援員にお話をうかがいました。

- どうして施設へ発注することにしたんですか？

**松本さん**「広報誌は毎号2000部を発行していますが、会員の方へ送付する作業(広報誌とチラシを封筒に入れ、宛名シールを貼った後、封をする)が私たちの大きな業務でした。アルバイトを雇うにも経費は必要ですし、費用対効果を考えて外注することにしたんです。」

- 作業は難しいんですか？

**松本さん**「広報誌に同封するチラシは、多いときは10種類近くあり、しかも会員種別で同封する資料が異なる場合は、私たちでも間違いやすいです。」

「ただ、障害のある方の作業風景を見ていると、『この作業なら、安心して任せられる』と実感しましたし、施設の職員がきちんとサポートしていますので、『正確に期限までに発送できるだろうか』という当初の不安は完全にはなくなりました。」

- 今後の発注計画は？

**松本さん**「月1回位は大量発送がありますので、他の施設にも委託して、ノウハウを広めたいですね。」



松本さんが持っているのが広報誌「長崎ふくし tomorrow」



送る資料は、ライン作業でどんどんつくっていきます。

**大森さん**「封入作業を担当する者にとってはA4とB5など、サイズが異なる発送物をホッチキスで留めるのが難しいみたいだったので、簡単に角を合わせられるように木枠を作るなどの工夫をすることで、作業が進むようになりました。」



大森さん(中央)と作業チームの皆さん

発送作業も今回で4回目と慣れてきて、今では1500部の発送なら作業は1日で終わりますよ。」

障害者施設へ発注すると**優遇措置**があります。

その1 障害者施設との取引額に応じ**法人税等の優遇措置**があります。詳しくはこちら <http://www.pref.nagasaki.jp/kurashi/pdf/zeiseikaisei.pdf>

その2 読む社会貢献情報紙「長崎県CSR通信」バックナンバーは、こちら <http://www.pref.nagasaki.jp/syogai/koutin/CSR.html>

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、そのままご返信くださるようお願いいたします。



企業と障害者の取引事例紹介紙「長崎県CSR通信」 発行部数2412部 電話**095-895-2454**  
発行 長崎県障害福祉課(担当:村井) 平成21年10月9日(毎月第2・第4金曜発行)FAX095-823-5082

企業の方へ補助金のご紹介です。障害者の職場実習生を受け入れたことのある企業を対象に、実習で使用する設備を購入するための費用などを補助しています(5社限定で、1社あたり上限500万円)。詳しい内容は、電話で「職場実習設備の件で」とお問い合わせください。

回覧用

## 和食料理店のお品書きを、障害者の施設が作製

チラシなどはパソコンで簡単に作ることができますが、プロ並みのデザインに仕上げるとなるとなかなか難しいですね。

和食料理店**旬魚旬菜和元**(大村市東三城町)は、名刺やチラシ等の印刷事業を行っている障害福祉サービス事業所**ワーキングヒルズ**(大村市荒瀬町)に、お品書きなどの印刷を発注していますが、どういうお品書きが出来上がったんでしょうか？

今回は、和元の**中尾昭信**大村店長と鴨川美文諫早店長、ワーキングヒルズのOA事業担当の**濱崎輝男**職業指導員にお話をうかがいました。

- どうして施設に発注したんですか？

**中尾さん**「印刷会社に頼めばいいものはできると思っていたのですが、高くなりそうで…だから、安くで受けてくれて、しかも、出来の良いところを探していたところ、施設でできると知りました。」

- 満足度はどうでしたか？

**鴨川さん**「施設の方は話しやすく、何回も打ち合わせしたうえで、サンプルを作ってくれました。オーダーメイドで、イメージどおり柔らかいタッチに仕上がったうえに格安だったので大満足です！」

- 障害者に対する印象は変わりましたか？

**中尾さん**「あくまでビジネスとしての取引引きで、お互い利益を出さないといけませんでしたが、一生懸命してくれたので頭が下がります。写真後方ののれんや座布団カバーもワーキングヒルズ製ですが、**大量生産の商品にはない暖かさのある商品**をこれからも期待します。」



中尾さん(左)と鴨川さん。



完成したお品書き。お客様に好評のようです。

**濱崎さん**「デザインを構成するときは、発注者のイメージを崩さないように注意していて、和元さんの場合、メニューが楽しくなるように心がけました。」



濱崎さん(中央)と作業チームの皆さん

和元さんには、印刷物以外にも施設で栽培している取れたて生しいたけや、対馬地鶏の有性卵などを使っていたのですが、今後は木工商品なども使っていただけるように頑張ります！」

### 障害者施設へ発注すると**優遇措置**があります。

その1 障害者施設との取引額に応じ**法人税等の優遇措置**があります。詳しくはこちら <http://www.pref.nagasaki.jp/kurashi/pdf/zeiseikaisei.pdf>

その2 読む社会貢献情報紙「長崎県CSR通信」バックナンバーは、こちら <http://www.pref.nagasaki.jp/syogai/koutin/CSR.html>

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、そのままご返信くださるようお願いいたします。



企業と障害者の取引事例紹介紙「長崎県CSR通信」 発行部数2409部 電話**095-895-2454**  
発行 長崎県障害福祉課(担当:村井)平成21年10月23日(毎月第2・第4金曜発行)FAX095-823-5082

和元さんでは、メニューの他にも名刺やビール券の印刷、食事を盛りつける竹の器をワーキングヒルズから調達されています。店舗の雰囲気と調和する商品を探すのが難しいときは、ワーキングヒルズのような小回りの効く障害者の施設に相談してみると、力になってくれるかもしれませんね。